

ボランティアのつどいを開催しました！

講師の先生を交えて参加者全員で集合写真をパシャリ📷



【開催日】
令和2年1月17日(金)
13:30~15:30

【開催場所】
フレンズ戸塚 3階
多目的研修室

【参加人数】
20名



講 義

講義中の様子



<講師:株式会社 野毛印刷社 米田 暁 氏>

今回は、「素敵な活動写真の撮り方」をテーマに米田氏より1時間程度の写真の撮り方講座をおこなっていただきました。プロカメラマンの視点から、体験談も含めてお話をいただき、後半はボランティアの皆さんが実際に撮った写真にアドバイスをくださいました。「写真はコミュニケーション」という言葉が印象的でした。



交流会では、チラシや写真を持ち寄り、自身のボランティア活動の紹介を行いました。色々な活動者との交流が深まり、とても楽しい時間となりました！

交流会の様子



交 流 会

今回取材させて頂いたのは「神奈川県視覚障害者ゴルフアース協会」

連載

ボランティアのたまたま箱

このコーナーは、毎回さまざまなボランティアさんを紹介します！

「いいコースです」「少し右に流れたかな」ボランティアの後藤さんが、声をかけます。大きな声を張り上げるわけではなく、自然にサポートされていました。

後藤さんに活動のきっかけを聞くと、「ゴルフは会社に入ってから始めた。なかなか練習をする機会もないが、ボランティアセンターのホームページで活動募集の記事を見て、目の見えない方がどうやってゴルフをするのだろうと関心を持った。合間の時間には自分も練習できるし、プロの指導も受けられるので、いいかなあと思った」と笑って答えてくれました。



後藤義幸さん



「視覚障害者ボランティアをしたい」と活動をした室野さんは、まったくゴルフの経験はありませんでした。しかし、活動後に「休憩時にゴルフを体験して、その難しさに気づき、また、それを楽しんでいる方が、自分の障害者への思い込みを変えてくれた」「視覚障害者は私にとって遠い存在だったが、それは無意識に遠ざけていたり関わる機会がなかったから」と報告してくれました。同じスポーツをすることで改めて考えることもあり、実際に関わってみることの大切さに気付くことができたとのこと。

ボランティア募集情報

- ・活動日:毎週土曜日 10:00~12:00
- ・活動内容: 視覚障害者対象のゴルフの練習会でのサポート (ボールの行方や飛距離を伝える)
- ・活動場所: 上矢部町
- ・その他: 高校生、大学生可 ゴルフを知らない方も可

きりり★あの団体のボランティア担当者

このコーナーでは、ボランティアの受け入れをしている担当者に想いを語って頂きます！

連載

ブラインドゴルフの通常のゴルフとの違いの一つが「ボランティアがつく」ということです。神奈川県視覚障害者ゴルフアース協会理事の千木良さんによれば、「視覚障害者でもゴルフをする方はたくさんいるが、一人でコースに出たり練習したりすることは難しく、どうしてもボランティアの援助は必要」とのこと。

千木良さんは、社会人になってからの失明(全盲)。何か体を動かしたい、ブラインドゴルフが普通にコースにも出るゴルフだと知って、それなら楽しそうだと思い、ついには団体を作ったとのこと。困っていることは？と聞けば「僕は毎日でもずっと練習に来たいんだけど、付き合ってくれる人はいないですよね」と答えるゴルフ好き。月に2回来てくれるプロの指導にも、熱心に聞き入ります。



千木良孝之さん

ボランティアさんに活動してもらうことについては、「ゴルフが好きで、合間に自分が練習できたりプロの指導を受けたりできることを魅力に感じる人でも、ゴルフについては知らないが障害者スポーツの場にふれてみたい人でも、大歓迎。どちらにしても、一緒に体感してほしい。クラブを握ったことなくても、ぜひ一度、やってみてほしい。触れ合うことで、自然と障害理解につながる。気負わず、見に来てほしい」とのことです。

